

令和7年度北区立桐ヶ丘中学校 学校関係者評価報告書

1 学校関係者評価の結果と分析

(1) 学習指導

- ① 今年度は土曜授業の日数が減り、授業参観の機会が減ったが、概ねどの教科も落ち着いて授業に臨んでいる様子が見られた。学校評価アンケートの集計結果から、わかりやすい授業が多いと感じている生徒は91%、保護者は71%で、そう感じていない生徒は6%、保護者は5%、分からない、判断できないと答えた保護者は23%となり、肯定的な評価が多数を占めたが、「分からない」と答えた保護者が5分の1程度いる。保護者からのアンケートの回収率が約60%となり、ここ数年では一番高かったので以前に比べれば信頼性は高い。
- ② ICTの活用と学習意欲の高まりについては、アンケートの結果で保護者は69%、生徒は85%が肯定的に答えているが、保護者・生徒ともに前年度より若干向上している。学習用端末の有効活用をさらに保護者に周知できるよう工夫を期待する。

(2) 生活指導・進路指導

学校全体は落ち着いており地域でも大きな問題が起きていないが、この状態を継続できるとよい。重大ないじめも発生していないので、思いやりの心が育ちつつあると思う。また、部活動についても生徒の評価は低くないが、地域展開や顧問の問題等、課題も残っている。進路指導では1年生の経済同友会講話や2年生の職場体験も実施でき、1年生から3年生までの系統的な学校全体でのキャリア教育を一層推進してほしい。

(3) 学校行事

学校行事については、計画通りの内容で実施できており、その中で生徒が生き生きと意欲的に取り組んでいる様子が運動会や桐ヶ丘祭で見られた。さらに、宿泊行事も全学年で予定通り実施できており、目的に沿った効果が認められるように期待する。

(4) 学校運営

「教育目標や方針は周知されている」	評議員	87%
	保護者	77%
「生徒は社会・学校の決まりを守って生活している」	評議員	87%
	保護者	96%
「諸問題に対し状況に応じた指導を進めている」	評議員	87%
	保護者	80%
「防災意識を高め、安全指導や避難訓練を適切に行っている」	評議員	87%
	保護者	85%
「適切に進路指導を行っている」	評議員	87%
	保護者	87%

以上、学校評議員・保護者ともに上記の項目に対して8割前後の肯定的評価をしている。学校評議員については母数が少ないので、一人の不明回答が影響している。保護者については回答率が6割ほどにとどまっており、その中で前年とほとんど変わらない肯定的評価の割合であるが、今後はすべての項目で90%を超えるように具体的な取組を進めていただきたい。

2 改善の方策についての意見

学校関係者アンケートの結果、項目によっては保護者と生徒の意識のずれが大きいものもあるが、土曜授業日の減少で学校評議員・保護者ともに学校へ来る機会が前年度に比べて減っており、学校の様子を見る機会が少なくなっている。また、質問に対して「分からない」という回答が多かったり、保護者の回答率が低かったりと、意識して教育活動の状況を評価したとは言い難い面もある。来年度に向けては、土曜授業日がさらに減ることで一層の行事の公開や授業公開の工夫を進めることはもとより、広報活動をより充実させ、学校の取組の理解深化に努めることを期待したい。

学校生活については、生徒の88%、保護者の87%が満足しているようだが、少数ながら不満をもっていたり関心が薄かったりしている回答もあった。学校に対して無関心な保護者も少なからずいるようで残念である。関心を高めるためにPTA活動を含めて様々な取組を通して、啓発活動を行っていく必要があると感じる。学校には引き続き、丁寧な教育活動を行っていただきたい。